

《9月定例会》

8月26日から9月21日までの27日間にわたり議会定例会が開かれ、行政報告3件、市長提出議案22件、議員提出議案3件を審議しました。

【審議結果】

- ・市長提出議案 22件…同意・可決・認定
- ・議員提出議案 3件…可決

事業の特徴

◆新型コロナウイルス感染症対応事業◆

- ①特別定額給付金(一人10万円)
- ②市内事業者支援
- ③新しい生活様式への対応
- ④地元応援プレミアム付商品券
- ⑤GIGAスクール(一人1台端末)

◆安全に関わる事業◆

- ①ガードレール設置

◆市の発展に関わる事業◆

- ①白岡駅西口線の道路整備工事

いきいき教育課

問 社会体育関係団体への補助金交付について、4団体への補助金交付事務に不備があると伺っているが具体的な内容は。

答 実績報告書の提出漏れ、交付額の確定通知の発送を行っていない。今後は、事務に不備がないよう改めていく。

商工観光課

問 特別定額給付金は市民全員に行き渡ったのか。

答 給付率は世帯ベースで99.65%であり、全員ではない。辞退されたかたや、申請が無かったかたもいた。

福祉課

問 コロナ禍における民生委員の活動状況と課題は。

答 消毒液及びマスクの購入、防災ベストを作成し、ほぼ全ての活動をいただいた。

令和2年度

一般会計 歳入歳出決算 認定



歳入…215億2576万8456円 (新型コロナウイルス感染症対応に関する国からの交付金5億1473万6000円を含む)
(前年度比42.9%増)

歳出…207億1347万4480円 (前年度比43.5%増)

差引額…8億1229万3976円
※差引額には令和3年度への繰越事業が含まれています。

財政課

問 公用車集中管理事業について年間の稼働率はどの程度か。

答 財政課が集中管理する公用車の稼働率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2年度は30%弱であった。2時間単位での予約変更と減車を検討中である。

企画政策課

問 交通事業者支援事業の補助金は、5社だと単純計算で1社当たり60万～70万の補助金額となる。補助された側の事業者から、感想やこつという点が助かったといった意見はあったか。

答 緊急事態宣言が出た当初は、相当大きな打撃を受けたとのことであり、当時の厳しい状況の中で助かったという話を伺っている。

教育総務課

問 教育委員会定例会での議決事項は何件か。

答 定例会は12回開催し、議決事項は9件、報告事項は52件、その他事項は52件である。また、臨時会は2回開催し、議決事項は2件、報告事項は4件であった。議事内容としては、教職員人事や教育委員会に係る規則や要綱の決定及び教科書採択などの教育に関する重点施策である。



総括質疑

問 市は、歳入確保・公有財産の有効活用として売却等を推進しようとしているが、大切な決算認定時に未使用地等を面積だけでいいとするのはどうか。前例踏襲でない職員の意識改革は、企業会的な考えや経営的な発想の視座を持つことだと思う。「白岡を動かす」といった市長が役所に動かされないよう決算時に土地建物の公有財産の詳細情報を示すべきと考えるが、市長に問う。

答 「財産に関する調書」の様式は、地方自治法施行規則で定められている。しかし、平成18年度に総務省から「地方公会計制度の整備」が位置づけられ、発生主義の活用や複式簿記の考え方を取り入れたいわゆる財務4表の整備が要請された。これに伴い、市では、公営企業と同様の評価方法による資産評価及び固定資産台帳の整備を行い、平成22年度決算から新地方公会計の導入を図り、財務4表を毎年整備し、議会への報告及び市ホームページでの公表、市民ラウンジでの閲覧などを行っている。新地方公会計と公共施設等の適正管理を結びつけることによって、今後の公共施設等のマネジメント、公共施設の再編をはじめ、行財政改革の取組を強力に推進していく。

問 行政区長会では、市から31万円の補助金を受けている。一方で支出を見ると交際費として前市長の退職に際し3万円のお祝い金を支出している。この用途は適切か。

答 前市長の退任お祝い金は、市からの補助

金を財源としていないが、社会通念や一般倫理に照らし、市民の皆様にご迷惑を招くことのないよう組織に対して助言等していく。また、職員もモラルについて改めて意識を持って業務に取り組んでいく。

一般会計全般に対し

反対討論

消費税を10%に引き上げたことが、コロナ禍における景気後退にも影響し、景気対策としての消費税引き下げが課題になっています。また、世界的に気候危機が叫ばれその打開策が求められていますが、市の取組は不十分だといわざるをえません。

賛成討論

コロナ禍での厳しい行財政運営をせまられ、そのような状況下にあっても実質収支額においては、7億2534万2千円の黒字となっています。これらは、執行部を中心とした職員の努力の結果と評価します。よって、本決算を評価し賛成します。

